

参考資料

1 群馬県の現状

(1) 本県の人口等の推移

国勢調査によれば、全国の人口は平成22年（128,057千人）にピークを迎え、今後の推計によれば減少していくことが予想されています。

本県の人口のピークは平成12年（2,025千人）で、平成27年（1,973千人）にはピーク時と比べて52千人減少（-2.6%）しています。

人口減少に加えて高齢化も進行しており、平成27年の65歳以上人口は県人口の27.6%に及んで過去最高となっています。また、65歳以上人口のうち75歳以上人口（259千人）も過去最高となり、調査開始から初めて15歳未満人口（251千人）を上回りました。推計によれば、2040年には高齢化率が36.6%にまで上昇することが予想されています。

一方、出生数及び合計特殊出生率の状況を見ると、直近の平成28年では出生数が13,661人、合計特殊出生率が1.48となっています。昭和40年の27,885人、2.21と比較すると、それぞれ14,224人、0.73の減となっており、少子化が進んでいることがうかがえます。

● 人口と高齢化率の推移

(人口単位：千人)

		昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
		1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015
人口(全国)		99,209	104,665	111,939	117,060	121,048	123,611	125,570	126,925	127,767	128,057	125,430
群馬県	人口	1,606	1,659	1,756	1,849	1,921	1,966	2,004	2,025	2,024	2,008	1,973
	うち65歳以上	110	131	154	184	215	256	313	367	417	471	540
	うち75歳以上	33	38	48	63	80	102	124	155	198	233	259
	高齢化率	6.9	7.9	8.8	10.0	11.2	13.0	15.6	18.2	20.6	23.6	27.6
	(%)	75歳以上	2.1	2.3	2.7	3.4	4.2	5.2	6.2	7.7	9.8	11.7

出典：総務省統計局「平成27年国勢調査結果」、群馬県企画部統計課「平成27年国勢調査 群馬県の人口と世帯【人口等基本集計結果】」

(推計)

(人口単位：千人)

		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
人口(全国)		125,325	122,544	119,125	115,216	110,919
群馬県	人口(a)	1,920	1,858	1,787	1,711	1,630
	うち65歳以上(b)	578	582	580	583	596
	うち75歳以上(c)	295	344	362	355	345
	高齢化率	30.1	31.3	32.5	34.1	36.6
	(%)	75歳以上(c)/(a)×100	15.4	18.5	20.3	20.7

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成29年推計）

※上記推計は、死亡中位・出生率中位仮定による

● 出生数と合計特殊出生率の推移

(単位：人)

		昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成26年	平成27年	平成28年
		1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2014	2015	2016
出生数		27,885	29,429	29,616	25,140	22,917	19,470	19,431	19,445	17,134	16,023	14,522	14,256	13,661
合計特殊出生率		2.21	2.16	1.99	1.81	1.85	1.63	1.56	1.51	1.39	1.46	1.44	1.49	1.48

出典：厚生労働省「人口動態統計年報」

(2) 本県の伝統文化の継承状況

市町村合併による地域活動の広域化や山間地での過疎化が進むなかで、地域の文化を育んできた人や地域の一体感と絆が希薄になってきています。

県内の伝統文化継承に係る実態調査を平成25年に実施した結果、神楽・獅子舞等の民俗芸能の3割近く、祭り・行事の1割以上が「継承の危機」にあることがわかっています。

● 伝統文化継承状況

(単位：件数)

	平成20年度					平成25年度				
	総件数	復活	危機	中断中	廃絶	総件数	復活	危機	中断中	廃絶
民俗芸能	855	11	-	197	23	855	11	-	178	62
(構成比)		-	24.4%				-	28.1%		
祭り・行事	846	5	26	11	37	982	6	26	32	66
(構成比)		-	8.7%				-	12.6%		

出典：群馬県・(公財)群馬県教育文化事業団「平成25年度伝統文化継承事業 調査報告書」

2 群馬県の文化の現状

(1) 文化活動団体数

■ 文化活動団体数

平成29年において各市町村文化協会に加盟している団体数は2,834団体であり、61,000人が所属していますが、平成11年と比較すると団体数は1,150団体の減、所属人数は53,000人の減となっており、所属人数はおよそ半数近くまで減少しています。

● 文化活動団体数（各市町村文化協会）

(単位：団体、千人)

	H11	H16	H21	H25	H26	H27	H28	H29
団体数	3,984	3,932	3,490	3,083	3,089	2,985	2,881	2,834
所属人数	114	103	83	68	68	65	63	61

出典：群馬県文化協会連合会「各市町村文化協会等活動概要」

■ NPO 法人数（文化芸術関係）

平成29年において文化芸術活動を活動分野の1つに含む NPO 法人の割合は45.9%（400団体）であり、全国の35.9%を上回っています。また、平成24年に比べ88団体増えています。

さらに、文化芸術活動を主たる活動分野とする NPO 法人の割合は11.6%（101団体）となっています。

● NPO法人数（文化芸術関係）

（単位：法人（NPO法人数に対する割合：％））

	H24	H27	H29
群馬県	312 (41.1%)	381 (45.1%)	400 (45.9%)
全国計	15,852 (34.2%)	18,083 (35.5%)	18,545 (35.9%)

※「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を、活動分野の1つに含む法人

※H24、H27は12月31日、H29は9月30日現在

	H24	H27	H29
群馬県	71 (9.4%)	96 (11.4%)	101 (11.6%)

※「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を、「主たる活動分野」とする法人

※H24、H27は12月31日、H29は9月30日現在

■ 劇場・音楽堂等の主・共催公演数

平成26年度において公立劇場・音楽堂等で主催または共催した公演件数は418件で、全国17位となっており、全国平均の430件を下回っています。

一方で、近年は全国平均も減少傾向にあり、前回調査時（平成19）年と比較して、本県の全国順位は上昇しています。

● 劇場・音楽堂等の主・共催によるホールでの舞台芸術・芸術公演の件数

（単位：件）

	H10	H13	H16	H19	H26
群馬県	475	504	511	438	418
[全国順位]	17位	18位	13位	22位	17位
全国計	19,210	24,138	20,650	22,014	20,218
全国平均	409	514	439	468	430

出典：文部科学省「社会教育調査」

※平成27年度から「文化会館調査」が「劇場・音楽堂等調査」に名称変更

(2) 県民の文化芸術の鑑賞の動向

■ 県民芸術祭入場者数

県民芸術祭の入場者数は、平成15年をピークに減少傾向にありましたが、平成26年度からは入場者数・事業数ともに増加傾向にあります。

● 県民芸術祭入場者数

(単位：千人、件)

	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28
入場者数	268	483	192	204	184	220	246
事業数	83	72	98	105	101	108	118

出典：群馬県

■ 公立劇場・音楽堂等入場者数

公立劇場・音楽堂等で主催または共催する公演の入場者数は、平成26年度では204千人（全国第20位）であり、全国平均の266千人を62千人下回っています。

● 劇場・音楽堂等の主・共催によるホールでの舞台芸術・芸術公演の入場者数

(単位：千人)

	H10	H13	H16	H19	H26
群馬県	328	311	303	270	204
[全国順位]	10位	16位	14位	16位	20位
全国計	11,181	12,283	11,435	13,095	12,511
全国平均	238	261	243	279	266

出典：文部科学省「社会教育調査」

※平成27年度から「文化会館調査」が「劇場・音楽堂等調査」に名称変更

■ 美術館・博物館入館者数及び県民会館の利用者数

県立5館（美術館・博物館・文学館）の年間入館者数は、平成28年度では530千人となっており、平成15年に比べて46千人、平成25年に比べて10千人増えています。

また、県民会館（ベイシア文化ホール）の利用者数（年間延べ人数）は、平成26年から増加傾向にあります。

● 美術館・博物館入館者数及び県民会館の利用者数

(単位：千人)

	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28
県立5館	-	484	429	520	442	459	530
県民会館 (稼働率%)	362 (60.4)	341 (62.6)	314 (62.4)	310 (63.0)	309 (60.6)	361 (61.1)	515 (81.7)

出典：群馬県

(3) 文化施設数及び地方公共団体の予算

■ 施設数（博物館）

博物館数は、平成27年10月1日現在、23館（全国第19位）となっており、全国平均を2館下回っています。

また、人口100万人あたりの博物館数は、平成27年度で11.7館（全国第19位）となっており、全国平均の9.2館を2.5館上回っています。

● 博物館数（動・植物園、水族館を除く）

(単位：館)

	H14	H17	H20	H23	H27
群馬県	16	18	21	23	23
[全国順位]	25位	24位	20位	20位	19位
全国計	1,020	1,105	1,154	1,261	1,166
全国平均	22	24	25	27	25

出典：文部科学省「社会教育調査」

● 人口100万人あたり博物館数

(単位：館)

	H14	H17	H20	H23	H27
群馬県	7.9	8.9	10.4	12.0	11.7
[全国順位]	27位	26位	19位	21位	19位
全国平均	8.0	8.6	9.0	9.9	9.2

出典：文部科学省「社会教育調査」、総務省統計局「平成27年国勢調査結果」

■ 施設数（劇場・音楽堂等）

公立劇場・音楽堂等数は、平成27年10月1日現在、40館（全国第16位）となっており、全国平均を3館上回っています。

また、人口100万人あたりの公立劇場・音楽堂等数は、平成27年度で20.3館（全国第19位）となっており、全国平均の13.7館を6.6館上回っています。

● 劇場・音楽堂等数

(単位：館)

	H14	H17	H20	H23	H27
群馬県	41	42	43	42	40
[全国順位]	16位	17位	16位	16位	16位
全国計	1,832	1,885	1,893	1,867	1,743
全国平均	39	40	40	40	37

出典：文部科学省「社会教育調査」

※平成27年度から「文化会館調査」が「劇場・音楽堂等調査」に名称変更

● 人口100万人あたり劇場・音楽堂等数

(単位：館)

	H14	H17	H20	H23	H27
群馬県	20.2	20.8	21.4	21.0	20.3
[全国順位]	17位	18位	16位	18位	19位
全国平均	14.4	14.8	14.8	14.6	13.7

出典：文部科学省「社会教育調査」、総務省統計局「平成27年国勢調査結果」

■ 施設数（公民館）

公民館数は、平成27年10月1日現在、220館（全国第31位）となっており、全国平均の302館を82館下回っています。

● 施設数（公民館）

(単位：館)

	H14	H17	H20	H23	H27
群馬県	227	227	224	225	220
[全国順位]	35位	34位	34位	33位	31位
全国計	17,947	17,143	15,943	14,681	14,171
全国平均	382	365	339	312	302

出典：文部科学省「社会教育調査」

■ 施設数（公立図書館数）

公立図書館数は、平成27年10月1日現在、55館（全国第21位）となっており、全国平均の70館を15館下回っています。

● 施設数（公立図書館）

（単位：館）

	H14	H17	H20	H23	H27
群馬県	38	37	38	53	55
[全国順位]	28位	30位	31位	22位	21位
全国計	2,714	2,955	3,140	3,249	3,308
全国平均	58	63	67	69	70

出典：文部科学省「社会教育調査」

■ 地方公共団体の芸術文化経費

芸術文化経費（予算）の決算額（都道府県・域内市町村分の合計額）について見ると、平成9年度では7,373百万円、平成27年度では7,899百万円となっており、526百万円の増となっています。平成27年度の全国平均6,280百万円と比べると1,619百万円上回っています。

一方、都道府県のみ決算額を見ると、平成9年度では2,499百万円、平成27年度では3,562百万円となっており、1,063百万円の増となっています。平成27年度の全国平均1,871百万円と比べると1,691百万円上回っています。

● 芸術文化事業費の決算額

* 都道府県・域内市町村分の合計額

（単位：百万円）

	H9	H14	H19	H22	H27
群馬県	7,373	6,394	4,445	5,356	7,899
[全国順位]	[14位]	[14位]	[17位]	[13位]	[12位]
全国計	317,427	304,361	244,176	241,209	295,183
全国平均	6,754	6,476	5,195	5,132	6,280

出典：文化庁「地方における文化行政の状況について」

※「文化施設建設費」を除く集計

* 都道府県のみ

（単位：百万円）

	H9	H14	H19	H22	H27
群馬県	2,499	2,628	1,437	1,350	3,562
[全国順位]	[7位]	[7位]	[13位]	[12位]	[4位]
全国計	79,991	72,902	58,762	60,407	87,938
全国平均	1,702	1,551	1,250	1,285	1,871

出典：文化庁「地方における文化行政の状況について」

※「文化施設建設費」を除く集計

3 第2次群馬県文化振興指針策定アンケート調査結果（概要）

第2次指針策定にあたり、文化振興に対する県民等の実態や意向を把握し、指針に反映することを目的として、「第2次群馬県文化振興指針策定アンケート調査」を実施しました。

【調査対象】

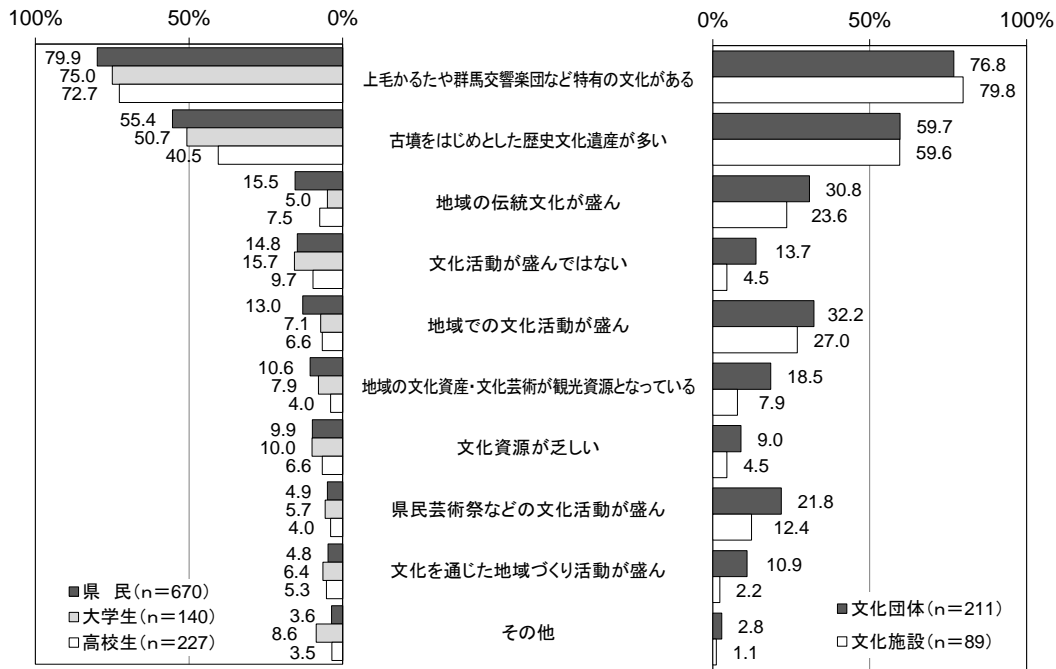
- 県内在住の20歳以上の男女（県民）
2,000件 → 670件（回収率 33.5%）
- 県内通学の大学生（大学生）
200件 → 140件（回収率 70.0%）
- 県内通学の高校生（高校生）
227件 → 227件（回収率100.0%）
- 県内に所在あるいは活動する文化団体（文化団体）
400件 → 211件（回収率 52.8%）
- 県内の文化ホール、美術館、博物館（文化施設）
142件 → 89件（回収率 62.7%）

【調査期間】

平成29年7月12日～7月31日

① 「群馬の文化」のイメージ

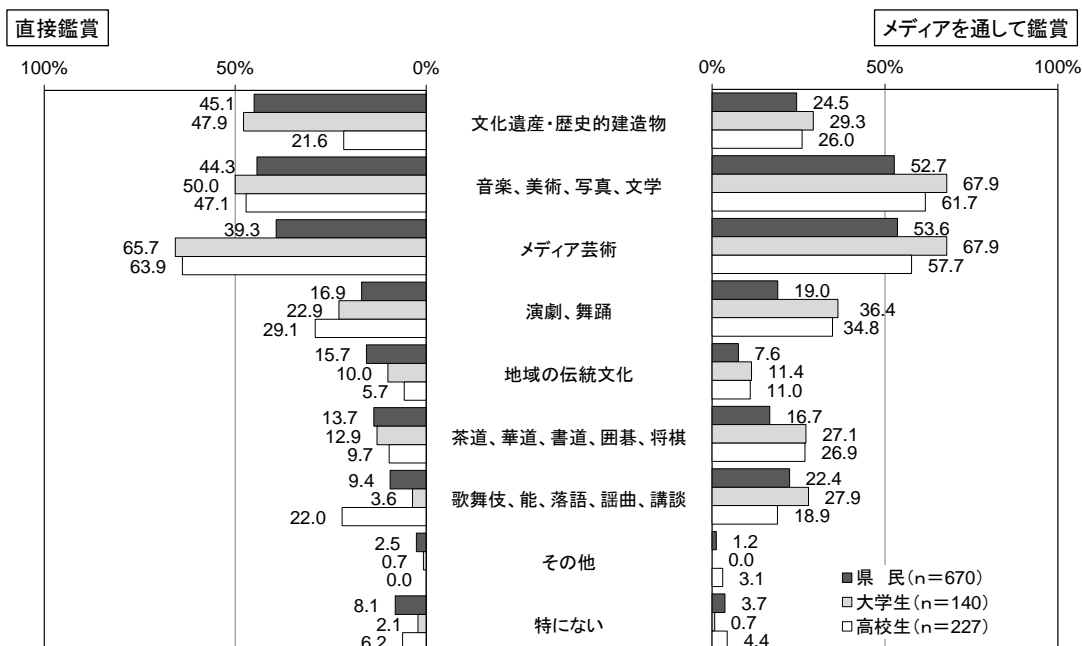
◆県民、大学生、高校生、文化団体、文化施設のいずれも「上毛かるた・群馬交響楽団など特有の文化」が7割以上で特に高い



② この1年間で鑑賞した文化芸術活動

◆**直接鑑賞**は、県民では「文化遺産・歴史的建造物」「音楽、美術、写真、文学」が同程度に高く、大学生、高校生では「メディア芸術」が最も高い

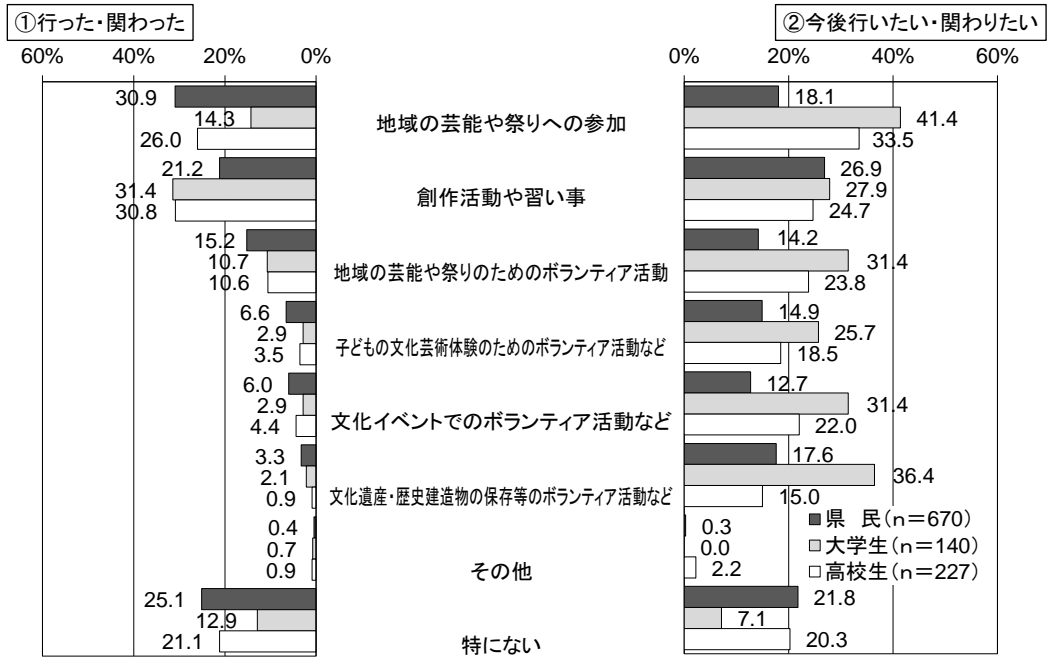
◆**メディアを通して鑑賞**は、県民、大学生、高校生のいずれも「メディア芸術」「音楽、美術、写真、文学」が高い



③ この1年間で自ら行った・今後行いたい文化芸術活動

◆行った・関わった活動は、県民では「地域の芸能・祭りへの参加」、大学生、高校生では「創作活動や習い事」が最も高い

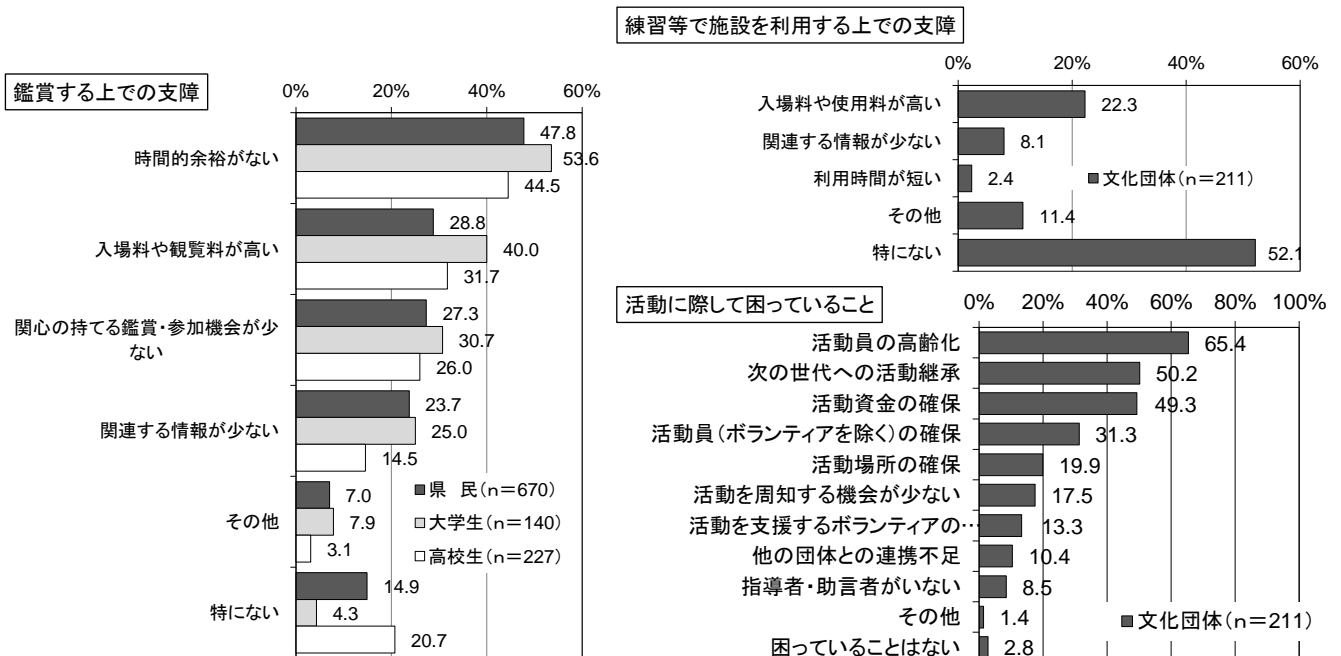
◆今後行いたい・関わりたい活動は、県民では「創作活動や習い事」、大学生、高校生では「地域の芸能・祭りへの参加」が最も高く、「創作活動や習い事」は大学生、高校生も高い



④ 鑑賞・練習・活動等をする上で支障となっていること

◆鑑賞する上での支障は、県民、大学生、高校生のいずれも「時間的余裕がない」が最も高く、次いで「入場料や観覧料が高い」が高い

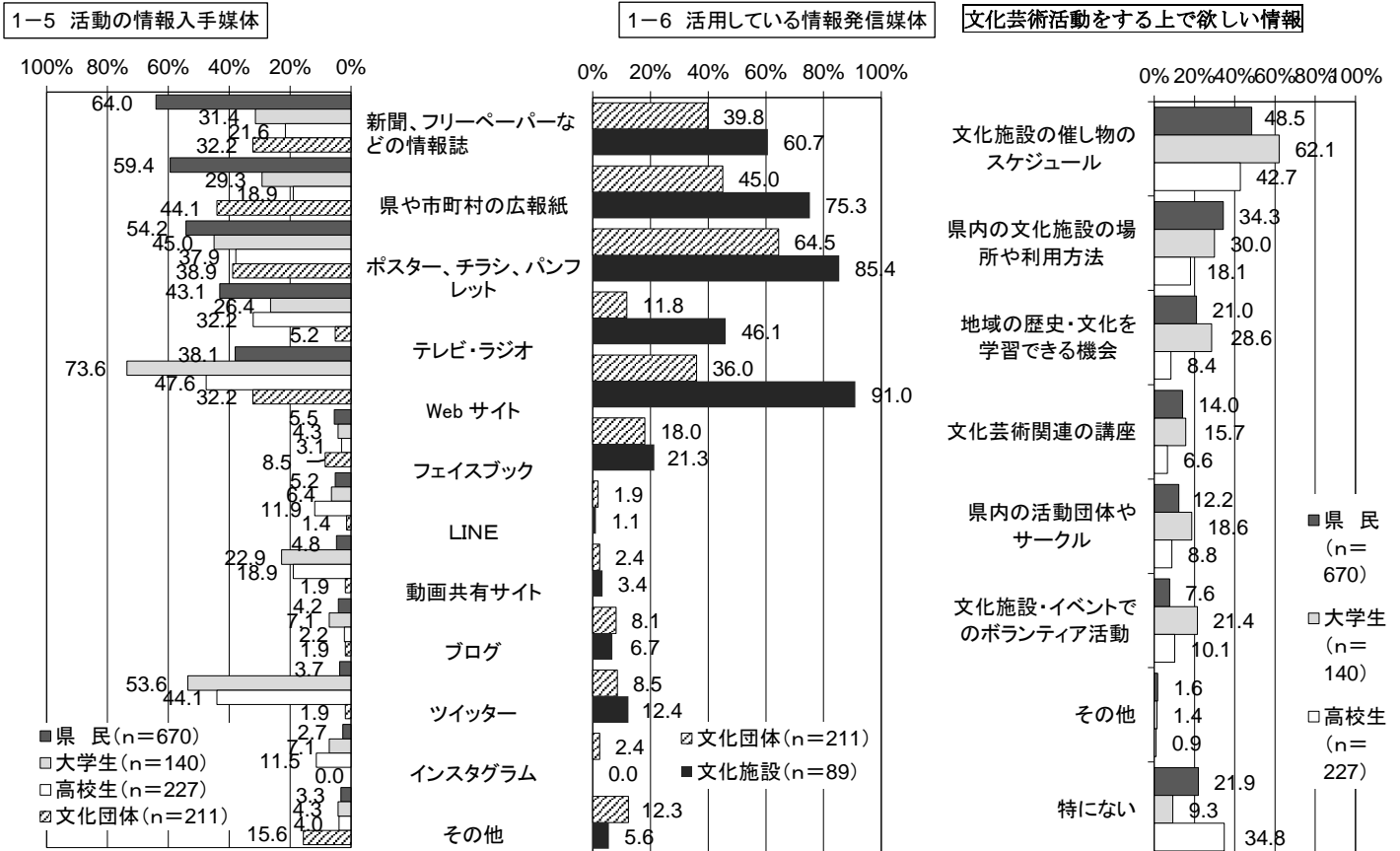
◆文化団体が活動に際して困っていることは、「活動員の高齢化」が6割以上で最も高い



⑤ 文化芸術活動の情報入手媒体と活用媒体

◆県民の情報入手媒体は「情報誌」や「県・市町村等の広報紙」などの「紙媒体」、大学生、高校生は「Web サイト」「ツイッター」などの「電子媒体」が高い

◆文化団体や文化施設の情報活用媒体は「ポスター、チラシ、パンフレット」「Web サイト」が高い



⑥ 民間企業に期待する支援・地元企業との連携（文化団体・文化施設）

◆文化団体が民間企業に期待する支援は「活動資金の援助」が7割以上で特に高い

◆文化施設の地元企業との連携事業開催の意向は「地元企業が希望すれば開催したい」が約4割で最も高い

